



国指定重要文化財2017 大宜味村役場旧庁舎



芸術選奨文部大臣新人賞1977 今帰仁村中央公民館

日本建築学会九州支部企画「建築文化週間2025」

見学会

沖縄の近代コンクリート建築物からみる建築文化と継承

沖縄県は、日本国内で鉄筋コンクリート（RC）建築物の割合が多く普及している地域です。その背景には、台風や塩害といった厳しい自然環境への適応、戦後復興期の米軍統治下での建築技術の導入、そして地域の歴史・文化が深く関係しています。これらのコンクリート建築物は、沖縄の文化や社会を反映し、地域住民の記憶に刻まれた重要な資産です。

本見学会では、沖縄の近代コンクリート建築物を通じて、地域に根差した建築文化を再発見し、これらの建物がどのように時代を超えて受け継がれているのかについて、「歴史的背景の理解」「建築文化の再発見」「保存と継承の取り組み」を中心に学ぶ機会を提供します。

対象のコンクリート建築物として、大宜味村役場旧庁舎や今帰仁村中央公民館および名護市庁舎など、沖縄の特徴的な近代コンクリート建築物を見学し、建築の保存や活用について関心を深めていくことを期待しています。

2025年 **10月25日** (土) 9:00~17:30

定員 : 30名

参加費 : 無料

解説者 : 清水肇（琉球大学教授）

崎原康平（琉球大学教授）

根路銘安史（アトリエネロ）

申込方法 : 氏名、所属先、所属先住所、電話番号、メールアドレスをGoogle formsにて送信

申込期限 : 定員に達し次第締め切り

問合せ先 : 琉球大学工学部工学科建築学コース

崎原康平 E-mail : sakihark@tec.u-ryukyu.ac.jp

主催 : 日本建築学会九州支部沖縄支所



Google forms

日程

08:30, てだこ浦西駅集合

09:00, 出発・移動（バス）

11:00, 大宜味村役場旧庁舎に到着、見学

11:45, 大宜味村役場旧庁舎を出発

12:30, 今帰仁中央公民館到着、お弁当

13:20, 今帰仁村中央公民館見学

14:10, 今帰仁村中央公民館を出発、移動

14:40, 名護市庁舎に到着、見学

15:30, 名護市庁舎を出発、移動

16:30 てだこ浦西駅解散



日本建築学会賞1981 名護市庁舎